



藍原 章 議員

高島の深く豊かな歴史に
育まれた文化財の
保存活用について

問 高島市の文化財の価値や魅力

を広く発信する手立てや
取り組みは

答

ツイッターやYouTubeを活用した情報発信は、若い世代の方々に文化財の価値や魅力を知っていたく機会となるため引き続き取り組んでいきます。

る文化財の多面的な価値や魅力の発信と活用を目指しています。

発信する取り組みを進めており、引き続き取り組んでいきます。

問 文化財を活かした地域づくり、歴史と文化財の案内人のボランティア育成はどのように考えているか。

答 教育総務部長

3つの重要な文化的景観選定地域では、地域住民の方を中心に組織されています、まちづくり協議会が、自治会と連携しながら景観保全の環境整備や伝統行事の継承に取り組まれるなど地域づくりにつながっているところがあります。また、価値や魅力を発信する案内ガイドを養成されるなど、見学者の受け入れ体制について整備を進めています。

問 文化財保存活用地域計画における5つのストーリーの関連文化財群の考え方と今後の取り組みは。

答 教育総務部長

本年3月に作成した文化財保存活用地域計画では、大陸と都をつなぐ地理的環境と、山や水の恩恵を受けて育まれた歴史と文化の特徴に基づいた5つのストーリー「継体大王出生の地」「都とつながる山・川・道」「高島七頭と城館跡」「中江藤樹の教え」「湖辺の祈りと暮らし」を設定し、それぞれのストーリーを構成す

問 文化財の価値や魅力を広く発信する手立てや取り組みは。

答 教育総務部長

文化財を学ぶ講座の「たかしま歴史楽」や展示会の開催、歴史ガイドブックなどの作成、広報たかしま掲載の「高島市歴史散歩」を市のフェイスブックで配信、高島歴史民俗資料館のツイッターやYouTubeでの情報発信など文化財の価値を知っていただき、魅力を

問 子どもの時から文化財に親しむことも大切だと思うが、そういった取り組みは。

答 教育総務部長

小、中学生を対象として、これまでに勾玉づくりや戦国時代の山城の工夫を体験する見学会、発掘調査出土物や民具に直接触れることができます。体験などを行っています。子どもたちに文化財の価値や魅力を知ってもらうことは、文